

平成27年10月7日(水) 市民説明会説明資料

JR北海道・留萌線 (留萌～増毛) の現況

平成27年8月

北海道旅客鉄道株式会社

お客様のご利用状況 ~区間別輸送密度 (平成26年度)~

○営業路線約2,500kmのうち約6割が輸送密度2,000人未満であり、国鉄時代の特定地方交通線の転換対象基準を下回っている

○留萌線（留萌・増毛間）は特にご利用の少ない線区の一つである。

■特にご利用の多い線区

区間	営業キロ (km)	輸送密度 (人/キロ/日)
函館線 小樽・札幌	33.8	44,099
千歳・室蘭線 白石・苫小牧	69	43,974
函館線 札幌・岩見沢	40.6	43,025
⋮		

■特にご利用の少ない線区

石勝線 新夕張・夕張	16.1	117
札沼線 医療大学・新十津川	47.6	81
留萌線 留萌・増毛	16.7	39

JR北海道平均輸送密度
4,791人 (H26年度)

※JR6社平均輸送密度 34,588人 (H24年度)

★輸送密度: お客様のご利用状況を示す指標

営業キロ1km当たり一日平均輸送人員
(年間輸送人キロ÷営業キロ÷年間日数)



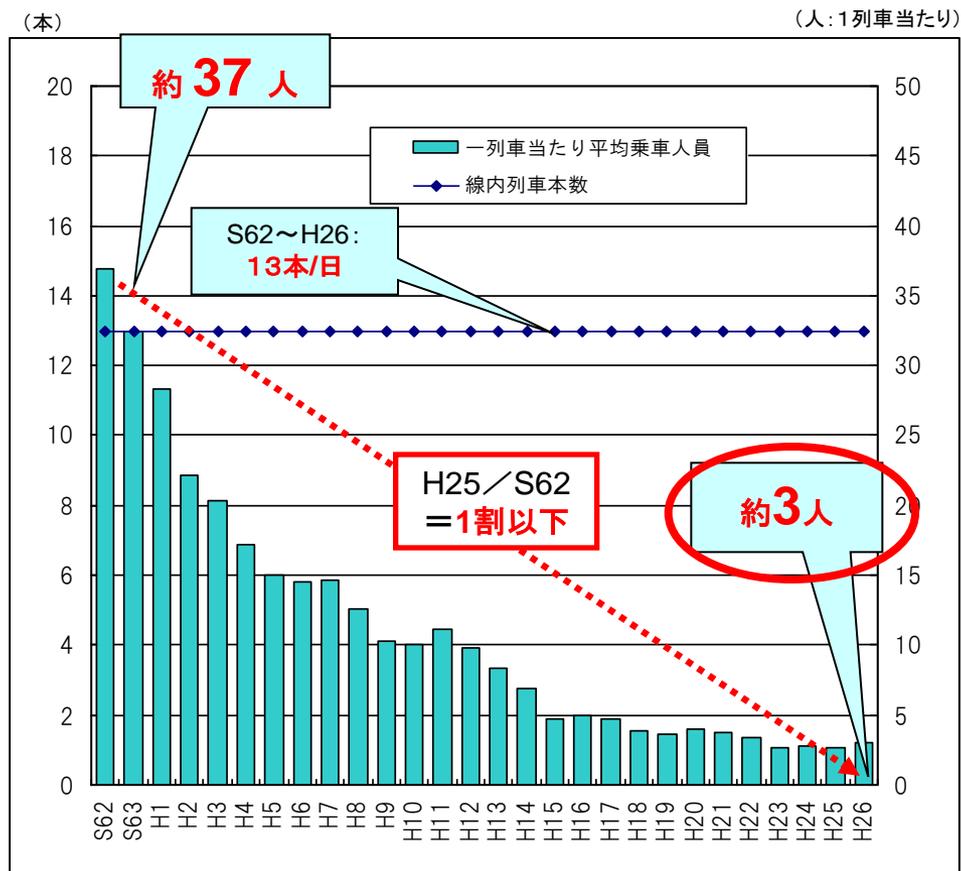
日高線(苫小牧～様似)は平成27年1月より盛土流出で、留萌線(深川～増毛)は平成27年2月より土砂崩壊の恐れが続くことで、それぞれ運休しているため、日高線は12月まで、留萌線は1月までの実績を用いて算出

留萌線（留萌・増毛間）のご利用状況

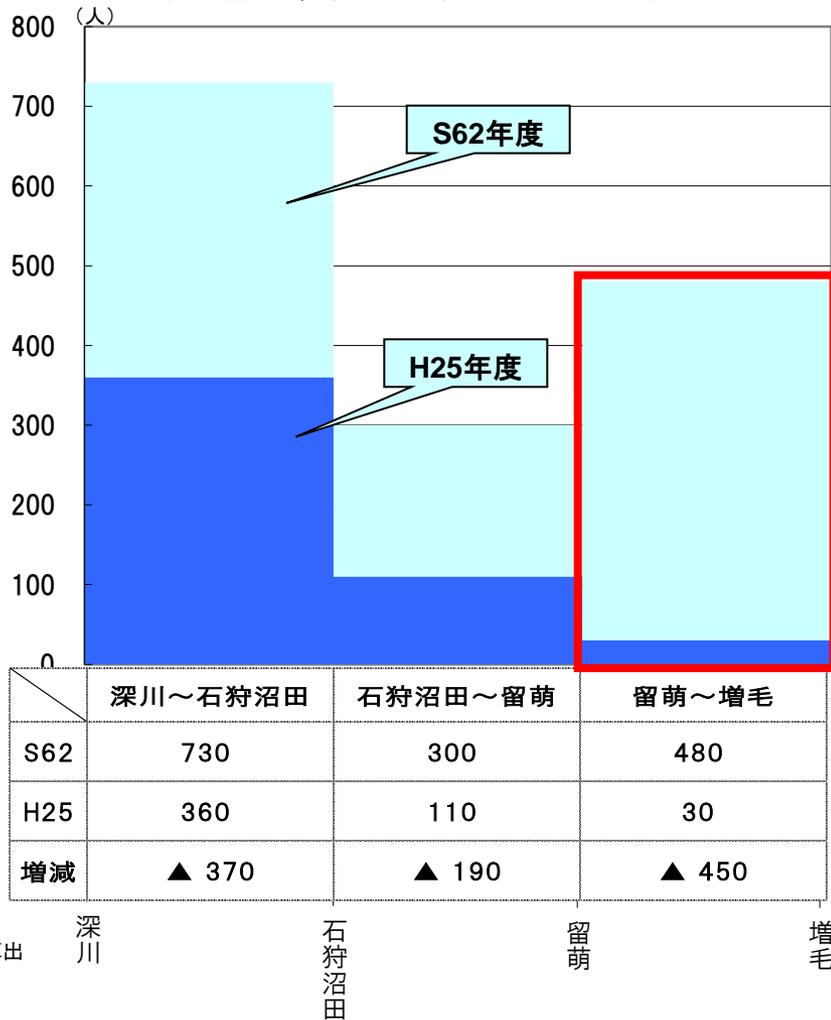
～列車本数と輸送量の推移～

- 留萌線の列車本数は昭和62年のJR発足時から現在まで不変
- 一方、留萌線（留萌・増毛間）のご利用はこの28年間でJR発足時の12分の1以下の水準に落ち込んでいる
- 留萌線全線の駅間で見ても特に留萌～増毛の落ち込みが大きい

■列車本数と一列車当たりの平均乗車人員の推移（留萌～増毛間）



■駅間通過人員の比較(一日平均)



※平成27年2月より土砂崩壊の恐れが続くことで、それぞれ運休しているためは1月までの実績を用いて算出

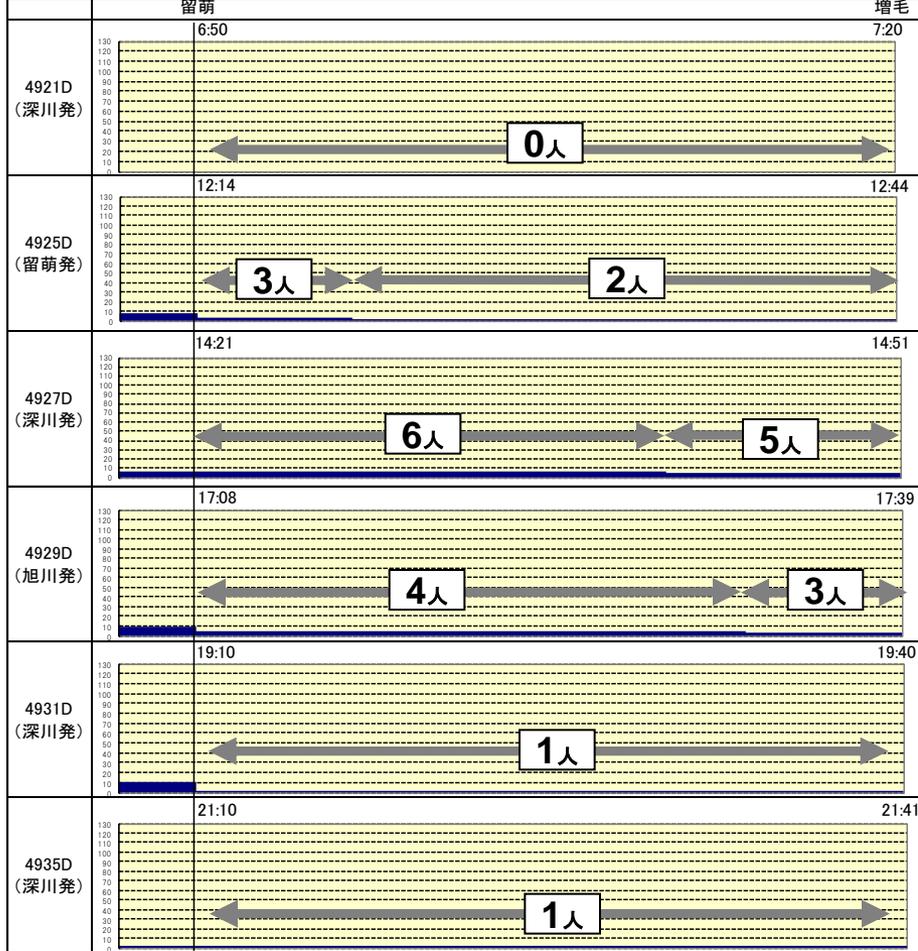
留萌線（留萌・増毛間）のご利用状況（列車別）

○留萌～増毛間のご利用は一日を通して少ない

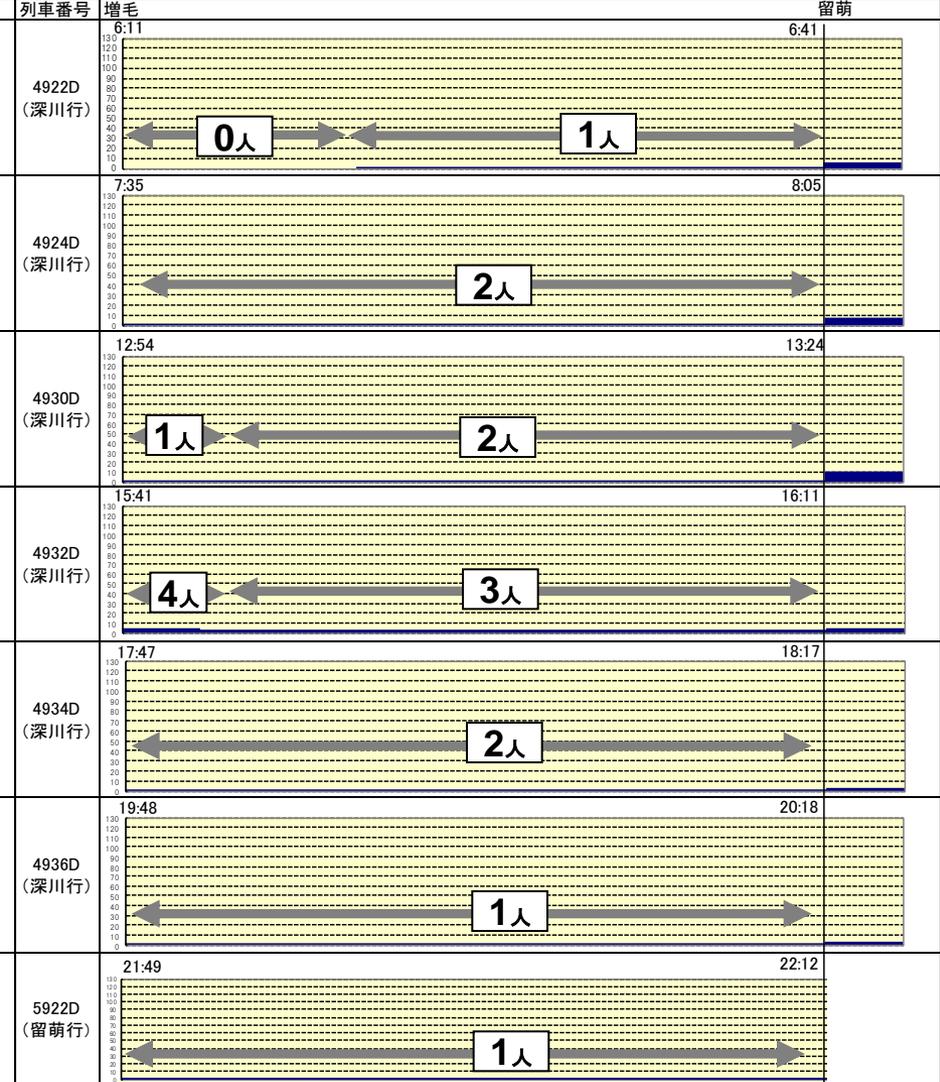
○留萌を跨がる利用も殆ど無い。

◆下り列車

■平成26年度列車別乗車人員（留萌線）



◆上り列車



※平成26年(平日)調査による

留萌線（留萌・増毛間）沿線の鉄道・バスの運行状況

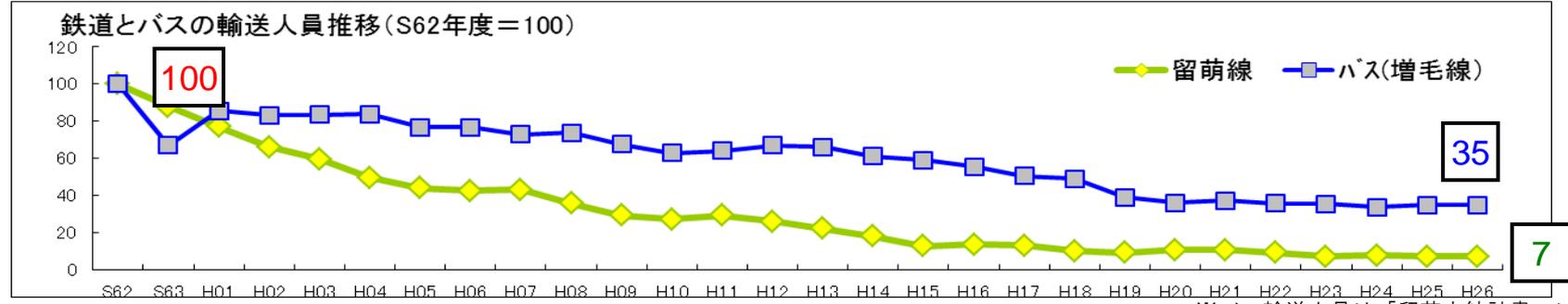
- 列車とバスが軒並み接近した時間帯で運行（列車・バス合わせて上下30本以上運行）
- 輸送人員は昭和62年と比べて鉄道が7%、バスが35%と大きく落ち込んでいる

■列車・バス時刻表（平日：H27.4現在）

列車/バス	列車	沿岸バス	沿岸バス	沿岸バス	沿岸バス	列車	沿岸バス	沿岸バス	列車	沿岸バス	沿岸バス	列車	沿岸バス	列車	沿岸バス	列車
留萌発	650	730	830	1000	1100	1214	1230	1400	1421	1530	1645	1708	1800	1910	1930	2110
瀬越	54	36	36	06	08	18	38	06	25	38	53	12	08	14	36	14
礼受	59	43	43	13	15	23	45	13	30	45	1700	18	15	19	43	20
阿分	702	45	45	15	18	26	48	15	33	48	03	20	18	22	45	22
信砂	06	49	49	19	22	30	52	19	37	52	07	25	22	26	49	27
舎熊	08	50	50	20	23	32	53	20	39	53	08	27	23	28	50	29
朱文別	11	53	53	23	26	35	56	23	42	56	11	29	26	31	53	31
箸文別	14	54	54	24	27	38	57	24	45	57	12	32	27	34	54	34
増毛着	720	800	900	1030	1134	1244	1304	1430	1451	1604	1719	1739	1834	1940	2000	2141

列車/バス	列車	沿岸バス	列車	沿岸バス	沿岸バス	沿岸バス	沿岸バス	沿岸バス	列車	沿岸バス	沿岸バス	沿岸バス	列車	沿岸バス	列車	沿岸バス	沿岸バス	列車	列車
増毛発	611	723	735	743	815	845	945	1113	1254	1258	1358	1513	1541	1648	1747	1843	1923	1948	2149
箸文別	17	28	41	48	20	50	50	18	1300	1303	1403	18	47	53	53	48	28	55	↓
朱文別	20	29	44	49	21	51	51	19	03	04	04	19	50	54	56	49	29	58	↓
舎熊	23	32	47	52	25	55	55	22	06	07	07	22	53	57	59	52	32	2000	58
信砂	25	34	49	54	27	57	57	24	08	09	09	24	55	59	1801	54	34	02	↓
阿分	29	39	53	59	33	903	1003	29	12	14	14	29	59	1704	5	59	39	07	↓
礼受	32	41	56	801	35	05	05	31	15	16	16	31	1602	06	8	1901	41	09	2204
瀬越	37	48	801	08	43	13	13	38	20	23	23	38	07	13	13	08	48	2015	↓
留萌着	641	755	805	816	850	920	1020	1145	1324	1330	1430	1545	1611	1720	1817	1915	1955	2018	2212

■鉄道とバスの輸送人員推移（S62=100）

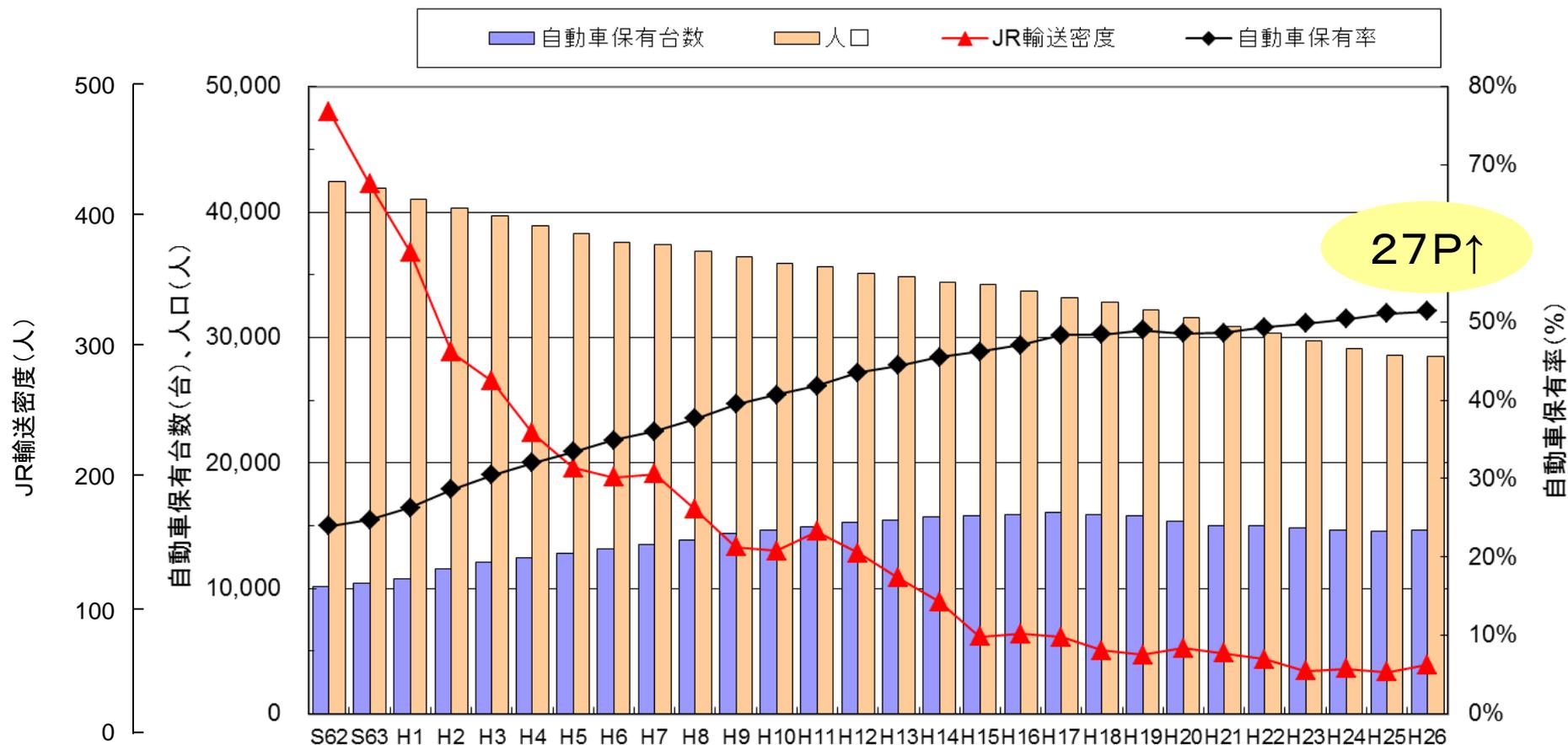


※バス輸送人員は「留萌市統計書」による。

留萌線（留萌・増毛間）の状況

～鉄道輸送量と自動車保有台数の推移～

- 沿線1市1町の自動車保有台数は約1.4倍に、自動車保有率は約27ポイント上昇し、モータリゼーションが進んでいる。
- 一方、鉄道のご利用状況はピーク時の1割以下に落ち込んでいる



留萌線（留萌・増毛間）の収支状況

○収入7百万円に対し、経費1億7千万円以上を要しており、年間1億6千万円以上の営業損益を計上している
(H25年度) (百万円)

